



2014-15年度 国際ロータリー第2790地区

## ガバナ一月信

VOL.

1

2014年7月号

COPY FOR MEMBERS  
発行/2014年7月1日Light Up Rotary ～ロータリーに輝きを～  
「原点回帰」を目指して国際ロータリー第2790地区  
2014-15年度ガバナー宇佐見 透  
(千葉幕張RC)

国際ロータリー第2790地区84クラブの会長幹事の皆様、いよいよ新年度が始まりました。皆様と今まで様々な会合、セミナーを通しロータリーの目的を推進出来ますよう学んで参りました。新しきスタートに大きな喜びを感じております。皆様方と結束し、各クラブの活性化を目標に、一步一步確かめながら歩んで行きましょう。RI会長ゲイリー C.K. ファン氏は今年度テーマに「Light Up Rotary」を掲げ『世界が抱える多くの問題の解決策について、自分には出来無いと思ひ込まずに、全世界120万人のロータリアン全会員が力を合わせ、暗闇に立ち向かい、各々がロウソクを灯し、世界を光で輝かせましょう。自らの行いを正し、家庭を整え、そして国家を治める事で、世界を平和に導こう。』と述べられました。私もクラブを強力なものとし、地域社会でのロータリーの存在感が高まればと願っています。皆様には前年踏襲の繰り返して未来永劫、継続する考え方から、変化と共に変わりながらも最良を目指し継続する事の大切さを、改めて考えて頂きたいと思ひます。私たちロータリーに

は1905年の発足以来一世紀を越える歴史の中で不変の原点である職業奉仕がありこの定義は侵されてはなりません。定款にも「ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある」と明記されています。職業奉仕の理解無しに真のロータリアンにはなれないのです。私は道標に「和して同ぜず」を皆様に共有して戴きたいと考えます。“和する”大切さと同時に、他人の意見に惑わされる事無く、自らの責任において行動し自分の意志を持つことこそロータリアンの魂です。節度と信頼、最後は自らの犠牲さえ厭わない相手を思う優しさが確立されていなければなりません。“自らの職業に基づく人としての信頼回復”と「和して同ぜず」の2つをモットーに「原点回帰」を次年度地区活動方針として、皆様の協力のもと地区運営にあたって参ります。最後に今年度も全ての会員の皆様に地区内の最新情報をお届け致したく月信コピー版を発行する事に致しました。皆様の様々な情報を月信委員会までお知らせ下さいます様お願いいたします。



## 2014-15年度 国際ロータリー会長メッセージ

2014-15年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。

創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元へ貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華の価値観と重なるところがあるからだと思います。

ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています：

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

ロータリアンは、超我的奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していく必要があります。

2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせてください。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。

2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。

ゲイリー C.K. ホアン

2014-15年度国際ロータリー会長



ゲイリー C.K ホアン (台湾台北)

国際ロータリー会長 (2014-15 年度)  
ロータリー財団管理委員 (2004-06 年度)  
国際ロータリー副会長 (2001-02 年度)  
国際ロータリー理事 (2000-01 年度)

ゲイリー C.K ホアン氏は、中国の南部に生まれ、台湾で育ち、米国のイースタン・ミシガン大学を卒業した後、ニューヨーク州の保険大学で MBA 取得されました。ホアン氏は、マラヤ華僑保険会社の社長を務めた後、現在は新光セキュリティー会社の名誉会長となっております。

台湾非営利連盟から台湾市民奉仕賞、台湾内務省より卓越した社会奉仕貢献賞を受賞され、2001 年のロータリーの国際大会では、米国テキサス州サンアントニオ市から「名誉市長」と言う称号を贈られました。

1976 年以來のロータリアンであるホアン氏は、台北ロータリークラブの会員で、地区ガバナー、RI の理事、副会長、財団管理委員、ならびにその他数多くの委員会やタスクフォースの委員ならびに委員長を歴任されました。

氏は、アジアにおけるロータリーの会員増強に多大な貢献をされたほか、ロータリーの 100 周年記念には、ロータリー財団管理委員として、台湾に 100 名の新しいメジャードナーを誕生させる目標を立てました。その結果 2005 年には 106 名、2006 年には 103 名のメジャードナーが生まれ、当時の年次プログラム基金に 200 万米ドルを超える寄付を集めたことに成功しました。

ビジネスとロータリーでの経験をつづった著書『Finding Solutions, Not Excuses』を出版し、RI 超我の奉仕賞、会長賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞されたホアン氏は、コリーナ夫人との間に、息子さんが 1 人、娘さんが 2 人おられ、全員がロータリー財団のメジャードナーです。



## 新年度に期待する

「モチベーション・インベンション・イノベーション」

国際ロータリー第2790地区

2014-15地区研修リーダー 崎山 征雄

(習志野中央RC)

1900年代に入り「こんな世の中で良いのか」というモチベーションから四人の友人からなるロータリークラブというインベンションが、シカゴから全米、全米から全世界を席捲します。しかし新たな価値を生む革新的なイノベーションとして変化のスピードは年々加速しており、私たちはその変化に適応してゆかねばなりません。歴史の時間軸を見据え、創立からの110年間の歴史と変遷を学ぶ事で様々なものが見えてきます。1905年の創立4人のメンバーのうち、翌年の1906年にハイラムショーレー（仕立て屋）が退会し、続いて鋳業エンジニアのガスターバス・ローアも退会します。彼らは名誉退会者とも呼ばれますが当時も大変だった様です。しかし、その後、瞬く間にロータリーは世界を席卷します。1905年10月には30名になり、1年後には80名、3年後には140名を超えていました。1915年のサンフランシスコ大会でロータリー倫理訓・職業奉仕理念の確立と、クラブ管理の標準化の為の標準クラブ定款と細則を採用、さらに地区制度・ガバナー制度を制定、アディショナル正会員制度も制定し、1917年アトランタ大会でR財団の前身の基金制度を発足させました。同年の“ライオンズクラブの発足”や第一次、第二次の世界大戦の荒波にも負けず、会員数は1966年60万人、1976年80万人、1986年には100万人を突破、日本でも10万人を超えました。1996年には120万人、加盟国家数も200余を数えますが、一転21世紀に入り日本などの先進国では減少傾向に転じ現在まで横ばい状態で推移しています。この会員数の変化に応じて、その時々国際ロータリーの考え方、戦略は変化してきました。会員数が100万人を突破した1986年の翌年、チャールズ・ケラーRI会長は長期計画委員会を立ち上げ、次のロイス・アビー会長、ヒュー・アーチャー会長に引き継がれ、3年間の試験的プログラム期間を経て、1996年2月地区リーダーシッププラン(DLP)を承認しました。DLPは基本的には、急激な会員増強とクラブ拡大に対応する戦略であり、ガバナーの任務と負担軽減のために、合同公式訪問、ガバナー補佐制度、研修リーダーの設置等の制度的

な整備をする事によって、地区とクラブの管理強化を目的としたものでした。また先進国での会員数の減少傾向と横ばいの中、クラブの小型化が進行しRI理事会は、小型化により弱体化したクラブを強化する必要にも迫られ、2000年9月、リーダーシップ開発・研修委員会の報告を基に4年間の試験的期間を経て2004年11月、5常任委員会を基本的委員会組織とするクラブリーダーシッププラン(CLP)を承認しました。更に21世紀に入り明らかに世界の潮目が変わります。会員総数が横ばいのまま、会員が増えている地域と、減っている地域の二極化現象が生じます。2001年規定審議会で理事会案として三つの採択制定案が新たな戦略として採択され、2013年の規定審議会では、これからのクラブ管理・運営に大きく影響し、今後の方向性を決定付けられると思われる多くの制定案が採択されました。2001年の規定審議会からこの10年あまりの間に、RIが如何に大きく変化したかが解ります。それが良い形で発展してゆくのか、どこかの時点でUターン現象を引き起こすのかどうかは我々ロータリアン自身の解決すべきこれからの問題です。宇佐見ガバナーは本年、各クラブにRI理事会決定に基づいた、研修委員会制度の導入とクラブ研修委員長制度の定着を提唱しておられます。ポール・ハリスは回顧録の中で自問自答します。ロータリーとは何か？ 何千人のロータリアンに聞けば何千通りの答えが返ってくるだろう。しかし、もしロータリーがより寛容で、他人の良さを認め、親しく交わり、助け合うなら、人生の美しさと喜びを共に出来るなら、それが我々の求めるロータリーの全てです。最後にはやはり此処にたどり着きます。ロータリアン一人一人の善意が高揚し個々の活動に期待をしているという、ロータリー発足の精神に立ち返り、新しい波の中さらにロータリーがもっと身近により親しみやすく、誇りをもってロータリー活動ができるように我々はクラブと共にサーヴィスの場で、この1年間をロータリー原点回帰の一年間ととらえ、皆様と共に充実したものにしたいものと考えます。皆様のご協力をお願いします。



## 「研修委員からのご挨拶」

国際ロータリー第2790地区

2014-15地区研修委員 R L I 担当 中村 博亘  
(柏西RC)

2014-15年度、崎山研修リーダーの下で研修委員を務めさせていただきます中村です。地区リーダーシッププラン(DLP)の中でもRIが最も力を入れている分野である地区研修の充実を任せられ責任の重さを感じております。地区の主な研修の内、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、そして本年度から名称が変わりました地区研修協議会も終り、いよいよ新しい年度が始まりました。この後、地区指導者育成セミナー、地区会員増強セミナー、地区財団セミナーなどRIが指定する研修が続きますが、本年度からはそれとは別に、地区組織の中にロータリーリーダーシップ研究会(RLI)が加わりました。

この研究会は従来の講演型の研修会ではなく、参加者のディスカッションを主とするものです。それぞれの参加者が一つのテーマに対して意見を述べ合いながら自分なりの考えをまとめ方向性を見出していく方法です。十名前後の参加者が「コの字」型に並べられた椅子に座り、一名のディスカッションリーダーが出す問いに自分の意見を述べ合い研修を進めていきます。その話し合いの中からそれぞれが自分で解答を見つけていくものです。研修はPART I、PART II、PART III、卒後研修と4回に分けて行われます。朝9時から夕方5時頃までの長時間の研修ですので、最初は皆さん大変緊張しておりますが、ごしだいにその場になれ、会話が弾んできます。最後には多くの参加者が満足感を得たと、アンケートに答えて下さいます。大変有効な研修方法と思いません。

クラブの活性化には、クラブにおける研修が大切です。ただ、現在このクラブの研修が疎かになっているクラブがみられます。クラブの研修の場としては、クラブ協議会(年4~6回)、クラブフォーラム、

インフォーマル・ミーティング(旧炉辺会談)等がありますが、これらをしばしば行い会員のリーダーシップの養成を図らねばなりません。どんなに立派なクラブリーダーシッププラン(活動計画)を立てても実行が伴わなくては何の意味もありません。会員のやる意欲・モチベーションを高めるためにも研修は欠かすことは出来ません。クラブには必ず研修リーダーを置き会員のリーダーシップの養成を図って下さい。その為にもこの研修は最適と思います。

国際ロータリーも100年余を経て大きく変わってきました。特に新しい世紀に入り時代の変革に適応すべく、大胆な改革が行われております。残念ながら、この改革について行けない会員の方が多数見受けられます。本年度は新しい情報をクラブを通して会員の皆様に伝えていくべく努力したいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。



## 【 宇佐見ガバナーを励ます 】

国際ロータリー第2790地区  
パストガバナー 関口 徳雄  
(浦安RC)

宇佐見丸の地区航海に向けての平穏な出港、誠に  
おめでとうございます。

崎山研修リーダー、中村研修委員を筆頭に、始平  
堂幹事長をはじめ、幹事団は大変優秀なクルーと見  
受けられますので、先ずもって順風満帆は約束され  
たようです。

ガバナーの業務は、エレクト時代の後半、特に三  
大セミナーで基礎は出来上がっておりますので、現  
役のガバナーはこれを実行に移すだけでしょう。

ただ一つだけ大きく違うのは、その責任の重さで  
しょう。どこの団体や組織でも理事会や評議員会と  
いったチェック機関があるもので、勿論各クラブに  
もありますが、地区はガバナーが理事会をも兼ねた  
極めて独裁的(?)な統治機関でありますので、エ  
レクト時代の責任とは比較になりません。従って、  
反面そのいわゆるガバナンスないし権限は強大であ  
り、パストガバナーで構成される諮問委員会(手続  
要覧では「パストガバナー審議会」)ですら、その御  
意見を拝聴するだけの機関にすぎません。では、地  
区はどうかと言いますと、地区そのものは管理  
の便宜上結びつけられた一定の地理的な地域内にあ  
るロータリークラブのグループにすぎないのであり  
ます。(手続要覧)

今年度R Iのテーマは、「Light up Rotary」＝「ロ  
ータリーに輝きを」です。そして、地区の活動方針  
の原則は、「原点回帰」とのことです。素晴らしい地  
区運営方針と思います。ただ先輩(たった1年です  
が・・・)ガバナーとして一言申し上げますと、こ  
の「原点」というのは、実は私も一時期悩み、結局  
未だ解決できていない部分ですが、用語としては分  
かりやすく言葉も刺激的で人をして心地よい気分  
にさせますが、果たしてその中味・内容はといえば、  
大変難しく分かっているようで分らない抽象的な位

置づけの言語だからです。

即ち、ロータリーにおいて原点とは、時系列では  
どの地点を指すのでしょうか? 1905年のポールハリ  
スが創設した親睦のロータリーですか? それとも、  
アーサーF. シェルドンが出現し唱えた3年後の奉  
仕の萌芽期ですか? 決議23-34の頃ですか? ポリオ  
が始まる以前のことでしか? 意地悪なロータリー博  
士にかかったら絶妙な突っ込みどころで、この点を  
しっかり認識ないし理論武装していないと、ひとた  
まりもないでしょう。

地区運営にはどうか個性を出して下さい。継続性  
も重要ですが、せっかくガバナーになったのですか  
ら、前例に捉われず宇佐見色を出すべきでしょう。  
第2790地区に「宇佐見あり!」です。

先輩のパストガバナーから得るものがあつたら何  
でも知識として奪って下さい。又、同期のガバナー  
とも多く接触し、議論をして知識を深め、又、他地  
区の情報を集めて我が地区に活用できるものがあれ  
ば活用すべきです。

最後に気になるのは会員増強です。某パストガバ  
ナーの言によりますと、全国的に会員減少に歯止め  
がかからない現状は、客観的に見て日本のロータリ  
ーは衰退期に入ってしまったらしい、相撲で言えば  
徳俵に足のかかった状態だ、とのこと。何とし  
ても宇佐見ガバナーの知恵と工夫で会員増強を成し  
遂げて頂きたい。

それでは、1年間「副ガバナー」の出番がないよ  
う健康に留意されガバナー職を全うして下さい。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第1分区ガバナー補佐  
浦安RC 齋藤 博昭

この度2014-15年度第1分区ガバナー補佐を務めさせて頂くことになりました、浦安RCの齋藤博昭と申します。2012年までは、地区に出ることもなくのんびりとロータリーを楽しんで参りました。一昨年より地区のお手伝いをさせて頂くことになり、ガバナーの務め、各委員会の活動（会議セミナー等）、ガバナー補佐の務め等、地区役員の皆様の一生懸命な姿を拝見していると、頭が下がる思いであります。

2014-15年度 ゲイリーC.K.ホアン会長は「ロータリーに輝きを」をテーマにされました。孔子は「ただ座って暗闇を呪うより一本のろうソクを灯した方が良い」と説かれました。ロータリーの考え方は、ロータリー全会員が各々ろうソクを灯して力を合わせれば、世界を光で輝かせる事が出来るでしょうという熱い思いで述べられました。会員一人一人の力が集まることによってロータリーを育てることになります。

宇佐見ガバナーの活動方針は「原点回帰」です。追究しようとの向上心を持った人こそ、ロータリアンとしてふさわしい人物であり、ロータリーの理念をもっと追究しようとの向上心が満ち溢れるクラブが「質」の高いクラブであると宇佐見ガバナーは言っておられます。RIのテーマ、ガバナーの方針を分区の会長・幹事会に於いて、各クラブで実践されるよう提起したいと存じます。

ガバナー補佐の役割は、宇佐見ガバナー、地区役員と各分区のクラブとのパイプ役を務める事であると思います。ガバナー補佐会議で得た情報を、的確に各クラブに伝え各クラブの要望をガバナーへ伝えていきたいと思っております。

ガバナー補佐として、宇佐見ガバナーを補佐し、分区との意思疎通を計っていく所存であります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第2分区ガバナー補佐  
鎌ヶ谷RC 渡邊 幸一

2014-15年度RI会長であるホアン氏は、今年度のRIテーマを「ロータリーに輝きを」とカリフォルニア州サンディエゴの国際協議会本会議場にて発表されました。ホアンRI会長はロータリーの奉仕において中国の「孔子」の教えを指針としていると述べておられます。「孔子」は自分の血を受けた一族（ファミリー）はもちろん、血の繋がりのない赤の他人とも仲良くし、自分の行いを正し、家庭を整え、次に国家を治めてこそ天下が平和となる、と教えております。次にホアンRI会長は会員数130万人という目標を立て、達成させることによってロータリーを輝かせてください。そのためには新しいアイデアを持って会員増強に取り組んでくださいと、述べられました。そして、我が2790地区宇佐見ガバナーは「原点回帰を目指して」を今年度の活動方針に提言されました。1905年にロータリーが発足以来、一世紀を超えるロータリー活動には、時代の変化とともに変わった部分はあるが、変わらぬ原点は職業奉仕にあると述べられ、今年度は職業奉仕を奉仕プロジェクト委員会から独立させ、ロータリアンの根幹を成す職業奉仕はロータリアンの心の宿る地区内独自の委員会として位置づけされ、活動することになりました。そして宇佐見ガバナーは大きな山を動かしました。それは地区組織を変更して、DLPの構築です。DLPが確立しないがためにCLPがあやふやになっているクラブが数多くあると思います。私の所属するクラブでも、2009年に2790地区の方針であったCLPの導入が出来ず、現在に至っております。今年度DLPが確立したことにより、CLPが大変わかりやすくなりました。CLPにつきまして裁量権は各クラブにあります。CLPを検討していただき、効果的なクラブ運営、クラブの活性化を期待しながら、この度、微力ではございますが、ガバナー補佐を任命され、皆様のご指導をいただきながら、任務を全うしていく決意でございます。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Aガバナー補佐  
新千葉RC 森島 弘道

この度、宇佐見 透ガバナー年度の第3分区Aガバナー補佐を拝命いたしました新千葉ロータリークラブの森島弘道と申します。

まず始めに、宇佐見年度の出航を心よりお祝い申し上げます。そして2014-2015年度の宇佐見ガバナーを補佐するという重責にあたることに身の引き締まる思いを新たにしております。浅学非才の身ではございますが、お受けいたしました以上は、誠心誠意任務にあたる所存でございますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

私は、平成8年10月2日にロータリークラブに入会させていただきました。今年で18年目になります。職業分類は、「幼児教育」でございます。現在、地域の皆様に大変お世話になり、幼稚園、保育園、子育て支援センターの運営をさせていただいております。

新千葉ロータリークラブは、1966年（昭和41年）4月に創立、第2790地区では28番目に承認され、今年で49年目を迎えます。普段、幼児と過ごす時間が多かった私は、入会以来、ロータリークラブの諸先輩から大変多くのことを学ばせていただいたとともに、とても可愛がっていただき感謝しております。

経験も浅く、まだまだ勉強すべきことが多いのですが、第3分区Aのロータリアンをはじめ、皆さまのご協力ご支援をいただき、宇佐見ガバナーとロータリアンの温かな絆がさらに深まるお手伝いを楽しくできれば幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第3分区Bガバナー補佐  
千葉港RC 林 正弘

この度2014年-15年度第3分区Bガバナー補佐を務めますので宜しくお願い致します。私は入会以来、自クラブ内での活動しか経験がありません。正に「井の中の蛙」がいきなり外界に飛び出たようなもので、右往左往している状況です。

補佐会議や諸研修で学びました事を源泉として一年間、務めを果たしたいと考えております。

今年度のRIテーマは「ロータリーに輝きを」ですが、ゲイリーC.K.ホァンRI会長は、ロータリーが輝くためには、「孔子」の教えである『ただ座って暗闇を呪うより、一本のローソクを灯した方が良い』を引用し、ロータリーの考え方は「孔子」と同じで、私が一本、貴方が一本と全世界120万人のロータリアンが力を合わせれば世界を光で輝かせることができると述べています。そしてロータリーが輝くためには、各クラブの会員純増、奉仕プロジェクトへの参加、財団への寄付等の目標を達成させることを求めています。

私たちは、入会のきっかけは何であれ「世の中で良い事をしたい」の思いを持って入会しているはずです。ホァン会長から言われるまでもなく、私たちロータリアンは、ローソクの灯を点し続ける心を持っています。

さて、宇佐見ガバナーは地区テーマを「ロータリーの復活と原点回帰」として掲げられました。ロータリーの原点は親睦と相互扶助でした。その後社会奉仕の概念や職業奉仕の考えが確立され、今日に至っています。私たちが職業奉仕に立脚して商売をしても、競争相手が不当な手段を用いてくれば商売が成り立たなくなります。会員拡大の活動は、職業奉仕の仲間づくりとも言えます。今年度の地区目標は、各クラブ純増1名とされていますので、第3分区Bの全クラブで年度終了時には、クラブで定めた目標がすべてに渡って達成されていることを期待します。会員皆様のご協力を切にお願い申し上げます。





## ガバナー補佐 就任にあたって

第4分区ガバナー補佐  
上総RC 野村 進一

2014-15年度ガバナー補佐を務めさせていただくことになりましたので、一年間よろしくお願い申し上げます。就任にあたってガバナー補佐の主な役割と責務を改めて「地区を成功に導くリーダーシップ. ガバナー補佐編」から参照しますと、

1. 主な役割は、担当するクラブが効果的に運営されるようサポートすることによって、ガバナーを補佐すること。そして主な責務は、
  - 地区目標の設定を援助する。
  - ガバナーのクラブ公式訪問のスケジュールを調整する。
  - クラブの強みや弱み、目標に向けた進歩をガバナーに伝える。
  - 地区会合に出席する。
  - ロータリー財団の活動や募金活動を含む、地区行事や活動に参加する。
  - 地区チーム研修セミナーに参加する。
  - 会長エレクト研修セミナー（PETS）と地区研修・協議会に出席する。
  - 将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。
  - クラブの状況について次期ガバナー補佐に情報を提供する。

とあります。2014-15年度RI会長ゲイリーC.K.ホアン氏は、ロータリーの奉仕を人々と分かち合い、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」テーマに掲げ、宇佐見ガバナーは、自らの職業に於いて、プロの職業人としての信頼獲得を常に携え、会員一人一人がロータリーの魅力を語る「原点回帰」を活動方針に示しました。我々、第4分区はその方針に沿って各クラブごとに活動してまいりますが、地域性を踏まえながら、又、ガバナー補佐の役割を担いながら以下のことを重点に推進していきます。

2. 会員増強については純増1名を達成します。これは、各クラブ各々の方法で取り込みます。
3. 広報. 公共イメージ活動を積極的に推進します。特に区内8クラブの活動状況を取り纏め、メディアを通じて、地域社会の人々に知ってもらえる「解りやすいロータリー」の広報をして行きたい。
4. 11月にインターシティーミーティング（IM）を全員参加で開催し、今年度の活動状況を確認しながら、特色のある会合で活性化を図りたい。今年度充実したロータリー活動を推進するため、微力ながら皆様のご協力を賜りながら進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第5分区ガバナー補佐  
館山RC 望月 眞

2014-15年度 宇佐見ガバナーの下でガバナー補佐を仰せつかりました。

当分区内各クラブの会員の皆様のご支援・ご協力を賜りながらこの大役を全うしていく所存でありますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

補佐としての役割や責務などについて研修を受けましたが、分区内のクラブが効果的に運営されるよう連携を密にし、各クラブの問題を共有化しながら、目標の進捗状況やガバナーの意向を皆さんにお伝えすることによってガバナーを補佐していきたいと思っております。

RI会長ゲイリーC.K.ホアン氏はロータリーの価値観と中華的価値観の「奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重」に重なるところがあるとして、ロータリーの奉仕を人々と分かち合い、地域社会でロータリーの存在感を高め、会員数130万人への目標を達成し、ポリオ撲滅をして「Light Up Rotary」「ロータリーに輝きを」とテーマを発表されました。

ガバナーは、「ロータリーの魅力とは何なのかを全会員の皆さんと問い続ける年度にしたい」と、ロータリアンとして自己の内に「和して同ぜず」の強い信念を掲げ、会員一人ひとりがロータリーの魅力を語る「原点回帰」を地区テーマとされました。

ロータリーは「今やっていることだけを未来永劫変えることなく続けてゆく」という考え方から「変わりながら続けてゆく事の大切さ」を改めて考えて頂きたいと言われております。当分区としてもIMを通じて各クラブ間の活性化を図り、そして地域社会へロータリーの活動をアピールして、ぜひ皆さんと共に「原点回帰」を合言葉に変革を恐れずに「ロータリーに輝きを」出せるよう皆さんと共に活動をしていきましょう。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第6分区ガバナー補佐  
大多喜RC 諏訪 武士

2014-15年度が始まりました。宇佐見丸の出航です。その船の中で最年少の大多喜ロータリークラブの諏訪武士です。ロータリークラブに入会させていただき15年ほど経ちました。入会時は25歳だった私も40歳になりましたが、それでも他のガバナー補佐の方々を見回せば大先輩がズラリと並んでおられます。その中で区内最大の分区をお預かりしたことへの緊張はいかばかりか…。そうした意味もあり、昨年より始まったガバナー補佐エレクト会議はまさに冷や汗の連続でした。これまでのほとんどホームクラブに在籍しロータリーについての知識の不足、他クラブとの交流の薄さと他の方々に比べれば何とも未熟な自分を痛感しています。これからも学べるだけ学んでいく所存です。

さて、そんな私ではございますが、できれば若さを少しでも生かした私らしいガバナー補佐でありたいと考えております。現在地区の増強は都市部では一定の成果があがる一方、第6分区のある外房エリアでは芳しいとは言えない状況にあります。この状況を如何に改善していくかが私の任務のひとつであると考えます。そのためには、地区には各委員会のサービスと能力の向上に努めていただくよう求めて行くつもりでございますし、各クラブにはその地区を使い倒すつもりで活用していただきたい。ガバナー補佐についても同様です。可能な限りフットワーク軽く区内の各クラブの発展に貢献できればと思いますし、地区とクラブの有機的な接点として多くのクラブの声を聴くことができると考えております。地区幹事の皆様、各地区委員会の皆様には、いろいろな要求をさせていただくこともあろうかと存じますし、各クラブの皆さまにもご苦勞をお願いすることになろうかと存じますが、どうぞ皆様のクラブの発展の集積による地区の発展とお考えいただきご協力、またご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## ガバナー補佐就任挨拶

第7分区ガバナー補佐  
銚子RC 杉山 俊明

織田PGの時に地区幹事長を務めた関係で、ここ数年は地区の事業に係わる活動をしてまいりました。凶らずも本年度、第七分区に於いてガバナー補佐を拝命し、これまでとは違う立場で地区のお役に立てればと考えております。云うまでもなく、ガバナー補佐の役目はガバナーの意図する処を担当する各クラブに正確に伝え、一方では各クラブの意見を集約し、地区が各クラブに対し効果的に支援を行えるよう努める事だと考えます。

本年度、宇佐見ガバナーは魅力あるロータリーを目指し「自らの職業に基づく人としての信頼回復」と「和して同ぜず」をモットーに「ロータリーの復活と原点回帰」をテーマに掲げ、地区運営に当たってはDLPの構築を目指した組織を構成されました。区内各クラブの皆様には多少の戸惑いもあろうかと存じますが、活発な意見交換をし、共により良い地区並びにクラブ運営を目指して往けたらと考えております。一年間宜しくお願い致します。



## 黒衣に徹してこそ

第8分区ガバナー補佐  
佐原RC 川原 勝壽

ガバナー補佐の役回りは、まず、RIの役員であるガバナーの方針を忠実に担当分区内に伝達するメッセンジャーである。反面、と同時に、各クラブの抱える問題点をメンバーと共に探り出し、それがもしロータリーの抱える構造的な問題であれば、ガバナーを通じてRIに改善を諮るお膳立てをする役目も負っている。

ロータリーの組織では、主役は各クラブであり、真の主役はクラブを支える各ロータリアンに他ならない。ガバナーやそれを補佐する者たちは、本来黒衣である。主役たちの足を引っ張らないように心すべきと心得ている。

さて、RIテーマ「ロータリーに輝きを」のもと、ガバナーは、地区活動基本方針を「ロータリーの復活と原点回帰」と定めた。

ロータリーって何だろう？ロータリアン一人ひとりが、じっくり考えてみよう。かつて、元気だった地区やクラブ、そして輝いて見えたロータリアン、燦し銀のような先輩たち、今は昔！と考えないでほしい。このままで良いのかロータリーという問題意識を持って、悪しき慣習の洗い出しをして欲しいというのが、ガバナーの本心なのではないだろうか。

それなりの規律があり、それなりの矜持に裏打ちされた言動や行動を取り戻すにはどうすれば良いのか、今一度真剣に考えて欲しいというのが狙いなのではあるまいか。

RI会長は、世界で一番古いロータリアンは孔子であると言った。日本では、ロータリアン資質をもった人物として渋沢栄一をあげたい。その孔子を人生の師と仰いでいた渋沢はいう。本当の経済活動は、社会のためになる道徳に基づかないと、決して長く続くものではない。かといって、社会のためなる道徳だけでは、世の中の仕事というものは、少しずつ衰えてしまう。現実に立脚しない道徳は、国をも滅亡させる。そのバランスが大事だと。

真剣に生き様を考え、共に磨き合うことが今求められている。黒衣の戯言にならぬよう。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第9分区ガバナー補佐  
成田コスモポリタンRC 青木 貞雄

第9分区ガバナー補佐を仰せつかりました成田コスモポリタンRCの青木です。どうぞ、宜しくお願い致します。

前年度地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長に引続いてのガバナー補佐拜命で、頭の整理が若干必要ですが、宇佐見ガバナーの掲げる活動方針「原点回帰」は、ロータリーの原点に立ち返り、基本となる職業奉仕、即ち、自らの職業におけるプロとしての信頼獲得に努めた上で、会員一人ひとりがロータリーの魅力を語る事が出来るような活動の展開・構築を推進することと理解しておりますので、私の守備範囲が前年度の地区から分区に変わるものの、地区の方針・目標等の分区の皆様への浸透に努めると共に、各クラブの問題点・課題等のガバナーへの提起と課題解決への取組みを通じて、各クラブの活動活性化に貢献していきたいと考えています。

第9分区所属6クラブのうち、成田市ベースの2クラブは大規模ですが、他4クラブは、地域特性もあり、減少した会員数の回復が主要テーマとなっています。数合わせの会員拡大は本末転倒とした上で、各クラブ会員純増1名の目標を掲げたガバナーは、同時に、向上心のある人はロータリアンの資質を備えているとして、会員の質か量かの議論に時間を費やす前に行動をとる取組み指針を示されたので、私たち一人ひとりが常日頃から資質を備えた会員の勧誘に取組む必要があります。

しかし、そのためには、設楽前年度ガバナー補佐発案の卓話者人材バンクの活用を含めた例会卓話の充実、ロータリーに関する研修追及、親睦活動強化等を通じて例会の活性化と会員間の親睦深化を図ると共に、財団プログラムをも活用した地域・社会貢献等の奉仕活動へも積極的に参画し、会員は元より、新しく迎える仲間にとって魅力あるロータリー活動を展開していく必要があります。

私の力は微力ですが、会員一人ひとりが魅力ある例会構築、クラブの活動活性化、そして会員増強等に取組むと同時に、地域社会へのロータリー活動の情報発信にも力を注ぎ、皆の力で国際ロータリーの本年度テーマ「Light Up Rotary」の精神具現化に向けた活動を展開していこうではありませんか。

分区の皆様のご努力と協力を、宜しくお願い致します。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第10分区ガバナー補佐  
我孫子RC 松本 憲事

私の役割は10分区の5クラブが効果的に運営されるようサポートすることによりガバナーを補佐することです。更に、RIにより義務付けられたDLPという管理システムにおける明確な任務や責務を任期中に全うするように協力してまいります。

地区活動方針「原点回帰」をテーマとして、ガバナー補佐会議で宇佐見ガバナーよりしめされた事柄を可能な限りわかりやすく10分区5クラブにご理解頂いた上でお願いしてまいります。そのためにはクラブの規模、地域性、今までの伝統等の特性を知ることが重要であり、その上でクラブ運営の活性化の一助となるよう実行してまいります。

ロータリーの宇佐見丸という船に10分区5クラブのロータリアンの方々と共に順風満帆、大海原を和気あいあいと1年間の楽しい航海に人生をかけて就航します。そして10分区5クラブのみなさまに、ロータリーの魅力を理解していただきロータリーを今まで以上に好きになっていただくよう微力ながら努力してまいります。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第11分区ガバナー補佐  
習志野中央RC 庄司 昭

図らずも、ガバナー補佐の重責を担う事になりました。元より非力ですが、担当クラブの皆様のお力添えを頂き、11分区の皆様と宇佐見ガバナーとのパイプ役としての務めを全うしたいと思っております。

さて、本年度のRI会長のメッセージは“会員のみなさん！一人ひとりがロータリーに灯りを灯し輝かせて下さい”と提唱しております。

ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族の為のものでもあります。ロータリーは家庭が原点とも言われております。良き家庭とは家族が深い愛情で結ばれて、家族がお互いに思いやりの心を大切にすることは、家族がロータリー活動の良き理解者として協力を得られます。それがロータリークラブを活性化する原動力となり、会員の増強とさらなる奉仕の実践が実り、灯りを灯すことになりましょう。

また、宇佐見ガバナーは、本年度の地区活動方針を「ロータリークラブの原点回帰」と位置付けております。1997年、我が国のロータリーの会員数は13万人、現在では9万5千人と減少しております。経済の減速や、その他の要因が有ろうかと推測します。今日、「原点回帰」は、ロータリークラブの信頼回復が目的の一つであります。それには、ロータリークラブが魅力的な存在でなければなりません。ロータリーの目的を把握し、奉仕を推進実践することです。そして、その行動に誇りをもつことです。誇りを持つことにより、友人に、世間に、ロータリーの魅力を伝えることに役立つことではないでしょうか。それが会員増強と現会員の退会防止に繋がることと思えます。

ガバナー補佐として、年度内に4回以上各クラブの例会に訪問させていただきます。ロータリーについて語りあえる時間をいただき、ロータリーを学び、ロータリーを楽しむ一年でありますよう希望いたします。

皆様のご協力と一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第12分区ガバナー補佐  
松戸中央RC 高崎 信昭

2014－2015年度 第12分区ガバナー補佐にご推挙頂きました、松戸中央ロータリークラブの高崎信昭でございます。

ゲイリーC.K.ホアンRI会長は、今年度のテーマを「Light Up Rotary」とし、ロータリーの奉仕を人々と分かち合い、地域社会でロータリーの存在感を高めることで「ロータリーに輝きを」もたらして欲しいと訴えておられます。

さらに、地域社会の人々との交流を広め、ロータリー活動の理解を深めるために「ロータリーデー」の開催を提唱されています。

「ロータリーに輝きを」もたらし、「ロータリーデー」を現実のものとするために、みなさんと一緒に知恵を絞り、汗を流したいと思います。

宇佐見ガバナーは、地区活動方針として「原点復帰」を掲げ、“ロータリーの魅力とは何なのか”を問い続けると言っておられます。

更には、現状に留まっていたのでは発展は望めない。変革を恐れず徹底的に新しいことも取り入れるよう求めています。

我が意を得たりというお気持ちを、多くの皆さんがお持ちなのではないでしょうか。

本より各クラブの活動は、RIのテーマ・地区の活動方針に沿ったものであることは申し上げるまでもございませんが、私は特に2点付け加えさせて頂きたいと思っています。

第一は、クラブの自主性を最大限尊重するということです。

夫々のクラブには、誕生の経緯や歴史・クラブが持つ特性・構成メンバーの考え方等、それなりの理由や環境のもとに培われた特徴があります。従って各クラブの自主性を最大限尊重したいと思います。

第二は、親睦を重視し、相互理解を深めることに意を尽くします。

何故なら、親睦という基盤の上に奉仕活動や委員会活動の成功が期待できると思うからです。従って親睦の機会を増やし、相互理解と友情の絆を強めることに真摯に取り組みます。

各クラブ会長・幹事はじめ、会員の皆様方のご協力を頂き、大任を全うする所存でございますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## ガバナー補佐 就任にあたって

第13分区ガバナー補佐  
野田セントラルRC 池田 八倉

後ろから押されて無理やりガバナー補佐になったような気がした。

年齢順番から考えると、やむを得ないことかと覚悟した。それにしても前任者のガバナー補佐の方々の活躍を見るとき、自分には荷が重いと感じた。しかしながら受けたからには逃げ出せない。及ばずながらガバナー補佐の役目を果たさなくてはと思った。

自分なりにガバナー補佐の役目について考えてみた。

- ① ガバナーとクラブ間の情報交換を行う。
- ② 地区の行事（地区協議会、地区大会、ゴルフ大会、各種セミナー）や分区の奉仕活動やIM等の行事により多くの参加者を募る。
- ③ ガバナーの公式訪問が成功するよう務める。
- ④ クラブ会員とともにロータリーの歴史を学び、その過程を参考にして将来への歩みを考える。

以上概略をまとめてみた。やはり荷は重そうである。ここでハタと考えた。あまり荷の重さは考えまい。せつかく1年間ガバナー補佐を務めるなら思い切り楽しんでみよう。各種セミナーに出席し、RLI（ロータリーリーダーシップ研究会）にも参加して、もう一度ロータリーについて勉強し直そう。これは良いチャンスかもと頭を切り替えたら楽になった。ついでに普段考えていることもやってみたくなった。

“ロータリールネッサンス”である。ご存知のようにルネッサンスは14、15世紀頃にイタリアを中心として、ギリシヤ、ローマの時代に遡って古典の文化を復興しようとした。しかしながら単に遡るのではなく、結果的には新たな文化と思考を誕生させることとなった。人間開放、文芸復興を合言葉に、レオナルド・ダ・ビンチやミケランジェロ等の活躍があまりにも有名である。ロータリーがシカゴに誕生後約100年が経過した。この間各種の試行錯誤を繰り返しながら現在に至ったと思う。どのような活動と思考が必要か再度考えたい。私はこの一年間どこへ出かけてもルネッサンス、ルネッサンスと唱えるかもしれませんが。どうぞその節はご容赦してください。いろいろの課題を背負っての出発となりそうである。皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

## 文 庫 通 信 (321号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 古典文献より(1)

- ◎ 「米山日満ロータリー聯合会々長の演説 (東京ロータリー倶楽部創立十九周年記念会に於ける)」  
米山梅吉 1939 2p (日満ロータリー月報)
- ◎ 「日満ロータリー新機構の準備」 1939 2p (国際ロータリー月報)
- ◎ 「日満ロータリー聯合会記録」 1939 1p (日満ロータリー月報)
- ◎ 「コンフェレンスのあと1～3」 米山梅吉 D.70 1931 25p
- ◎ 「教科実習 行商日記(1)」 古澤文作 1903 4p (実科教育第四号)
- ◎ 「教科実習 行商日記(2)」 古澤文作 1903 6p (実科教育第五号)
- ◎ 「非常時局とロータリー精神」 南 次郎 京城R.C. 1939 4p (国際ロータリー.第七十区第拾年次大会 (京城))
- ◎ 「ロータリーの起源と精神」 伊藤次郎左衛門 1934 5p (ロータリー第七十区第六年次大会記録)
- ◎ 「年次大会講演」 井坂 孝 神戸R.C. 1936 4p (国際ロータリー第七十区第八年次大会)
- ◎ 「年次大会講演」 村田省蔵 神戸R.C. 1936 4p (国際ロータリー第七十区第八年次大会)

[上記申込先：ロータリー文庫]

#### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

### 叙勲・褒章・表彰 (敬称略) 旭日小綬章



伊藤 浩一  
(銚子R.C)

#### 寄付者紹介 (敬称略)

##### ロータリー財団寄付 メジャードナー



関口 徳雄  
(浦安R.C)



鈴木 桂三  
(柏西R.C)

#### 年次寄付 (マルチプル・ポール・ハリス・フェロー)



齋藤 博昭  
(浦安R.C)  
8回目



佐藤 孝彦  
(浦安R.C)  
4回目



小田 稔  
(浦安R.C)  
2回目



天野 汎  
(浦安R.C)  
2回目



福田 信行  
(浦安R.C)  
2回目



宮崎 俊雄  
(浦安R.C)  
2回目



女池雄二郎  
(浦安R.C)  
2回目



佐野 慎一  
(浦安R.C)  
2回目



宇田川 勝  
(浦安R.C)  
2回目



服部 丈夫  
(浦安R.C)  
1回目



甲斐 慶一  
(浦安R.C)  
1回目



木下 一夫  
(浦安R.C)  
1回目



桐生 孫治  
(浦安R.C)  
1回目



植松 行永  
(浦安R.C)  
1回目



白土 俊祐  
(浦安R.C)  
1回目

年次寄付 (ポール・ハリス・フェロー)



小林 章宏  
(浦安R C)



柴崎 一男  
(浦安R C)



梶澤 邦親  
(浦安R C)



小林 宏晃  
(浦安R C)



大塚 義仁  
(浦安R C)



二階堂晋一  
(浦安R C)



坂本 俊治  
(浦安R C)



戸田 猛樹  
(浦安R C)



鈴木 守  
(浦安R C)

米山功労者



五郎畑 巖  
(松戸中央R C)  
18回目



狩野 文夫  
(船橋R C)  
10回目



日暮 俊久  
(成田R C)  
8回目



遠藤 英一  
(成田R C)  
6回目



設楽 正行  
(成田R C)  
6回目



鈴木 茂生  
(松戸中央R C)  
2回目



柳内 光子  
(市川南R C)  
1回目



大木 英幹  
(旭R C)  
1回目



石毛 園子  
(銚子東R C)  
1回目



宮内 博  
(銚子東R C)  
1回目

新ロータリアン (敬称略)



草野 宏隆  
(船橋東R C)  
内装業  
6月5日入会



福留 信也  
(千葉R C)  
建築  
6月9日入会



宮澤 英男  
(千葉R C)  
信用金庫  
6月9日入会



伊東 正仁  
(千葉R C)  
損害保険  
6月9日入会



北田 城児  
(千葉南R C)  
ホテル  
5月16日入会



藤平 貞順  
(木更津R C)  
仏教  
5月29日入会



亀田 美穂  
(鴨川R C)  
大学  
3月18日入会



荒井 一利  
(鴨川R C)  
水族館  
2013年12月10日  
入会



江井 幸仁  
(鴨川R C)  
地方銀行  
2013年7月2日  
入会



高山 裕紹  
(成田空港南R C)  
地方銀行  
5月22日入会



名内 淑浩  
(旭R C)  
葬祭業  
2月7日入会



小川晃一郎  
(旭R C)  
食肉加工卸売  
2月7日入会



鈴木 和江  
(旭R C)  
資源再生  
2月7日入会



小川 恵子  
(旭R C)  
不動産賃貸業  
2月7日入会



箕輪 満  
(佐原R C)  
証券取引  
5月1日入会



鈴木 信行  
(成田R C)  
航空運輸  
5月23日入会



川島 利昭  
(成田R C)  
都市ホテル  
5月23日入会



浅野 正博  
(成田R C)  
教育団体  
5月30日入会



菊地 貴  
(成田R C)  
看板・サイン  
5月30日入会



八田 光  
(成田R C)  
損害保険  
5月30日入会



菅野 浩之  
(習志野R C)  
商業銀行  
4月9日入会



渡辺 明  
(習志野R C)  
パスト・サービス  
2013年2月7日  
入会



関山 岳大  
(習志野R C)  
証券業  
4月9日入会



高山 聡宏  
(野田セントラルR C)  
弁護士  
6月1日入会

## R I 第2790地区 (千葉) 2014年5月出席・会員数報告

分 区	クラブ名	出席率 %	例 会 数	会 員 数				
				7/1	女	当 月	女	増 減
第1分 区	市川	100.00	4	39	1	41	0	2
	市川東	100.00	3	38	0	41	0	3
	市川南	72.00	4	15	1	17	2	2
	浦安	85.60	5	41	0	39	0	△2
	市川シビック	82.35	3	34	0	35	0	1
	浦安ベイ	81.25	4	17	0	16	0	△1
第2分 区	船橋	96.08	3	25	0	26	0	1
	船橋西	92.58	4	41	5	42	5	1
	鎌ヶ谷	88.10	5	26	2	26	2	0
	船橋東	92.86	4	27	2	29	2	2
	船橋南	91.30	4	21	2	21	2	0
	船橋みなと	88.57	3	22	7	22	7	0
第3分 区A	千葉	81.58	3	65	1	66	1	1
	新千葉	69.35	4	43	0	45	0	2
	千葉西	74.31	3	58	4	65	5	7
	千葉中央	83.13	3	37	0	35	0	△2
	千葉幕張	86.67	3	37	3	37	3	0
	千葉東	68.82	3	31	4	32	4	1
第3分 区B	千葉若潮	62.97	4	30	2	30	2	0
	千葉南	75.38	4	42	5	51	7	9
	市原	69.44	4	46	3	44	3	△2
	千葉港	77.00	4	27	0	28	1	1
	市原中央	74.00	3	51	2	51	2	0
	千葉北	58.88	4	25	3	24	3	△1
第4分 区	千葉緑	76.00	3	26	3	25	3	△1
	木更津	81.00	4	37	4	36	3	△1
	上総	71.05	4	20	0	19	0	△1
	富津	93.33	3	15	0	15	0	0
	富津中央	83.40	4	21	0	24	1	3
	木更津東	86.42	4	42	0	41	0	△1
	君津	97.43	3	41	2	43	2	2
	袖ヶ浦	92.42	3	23	3	23	3	0
第5分 区	富津シティ	85.70	4	15	0	14	0	△1
	館山	90.70	3	55	3	60	3	5
	鴨川	93.14	3	33	6	35	7	2
	勝浦	91.16	4	38	5	36	5	△2
	千倉	81.81	5	9	1	11	1	2
	鋸南	85.70	4	13	1	14	1	1
第6分 区	館山ベイ	66.18	4	16	0	20	0	4
	茂原	85.18	4	55	2	58	3	3
	東金	78.78	3	22	1	22	1	0
	大原	83.75	4	14	2	20	3	6
第6分 区	大多喜	80.00	3	8	1	10	1	2
	成田空港南	91.18	4	36	0	37	0	1
	茂原東	89.28	4	22	2	22	2	0
	茂原中央	83.28	4	17	2	14	2	△3
	大網	82.50	4	30	1	30	1	0
	東金ビュー	70.19	4	25	2	26	1	1
第7分 区	銚子	83.67	4	44	4	43	4	△1
	旭	80.70	4	40	0	43	2	3
	八日市場	83.70	3	41	2	41	2	0
第8分 区	銚子東	86.49	3	40	2	41	2	1
	佐原	84.62	4	46	0	47	0	1
	多古	74.36	3	13	0	14	0	1
第9分 区	小見川	88.89	3	20	0	21	0	1
	佐原香取	77.19	3	27	0	27	0	0
	成田	100.00	4	61	1	67	1	6
第10分 区	八街	75.76	4	33	1	31	1	△2
	印西	73.71	5	26	0	26	0	0
	白井	80.00	3	16	0	17	0	1
	富里	65.63	3	24	0	28	0	4
	成田コスモポリタン	78.62	4	64	0	70	0	6
	柏	85.00	4	52	9	50	9	△2
第11分 区	我孫子	71.76	3	24	0	26	1	2
	柏西	84.21	4	58	3	57	3	△1
	柏東	89.00	4	23	1	28	3	5
	柏南	82.00	4	29	4	32	5	3
	習志野	76.58	4	30	1	30	1	0
	八千代	82.25	4	45	0	46	0	1
第12分 区	佐倉	41.67	4	18	2	17	2	△1
	八千代中央	85.40	3	26	0	28	0	2
	四街道	87.33	3	24	3	24	3	0
	習志野中央	76.50	4	47	6	50	6	3
	佐倉中央	62.50	4	17	2	18	1	1
	松戸	91.07	4	55	0	57	0	2
第13分 区	松戸東	92.93	4	51	0	51	0	0
	松戸北	75.79	3	35	0	37	0	2
	松戸中央	92.74	4	34	2	33	2	△1
	松戸西	79.17	4	24	0	24	0	0
第13分 区	野田	80.00	2	50	5	55	5	5
	流山	85.16	4	20	4	18	4	△2
	野田東	79.38	5	31	0	32	0	1
	流山中央	81.30	3	22	2	22	2	0
野田セントラル	78.26	4	22	0	23	0	1	

クラブ数 84RC	2013年7月1日	地区会員数	2,703人	当月平均出席率	83.33%
	2014年5月末日	地区会員数	2,792人	増減	+89
	2013年7月1日	地区女性会員数	142人	女性会員増減	+11
	2014年5月末日	地区女性会員数	153人		

**物 故 会 員 (敬称略)**



長谷川 智 (木更津東RC)  
 逝去日: 2014年6月5日 (享年75歳)  
 入会日: 1971年9月5日



織田 吉郎 (銚子RC)  
 逝去日: 2014年6月6日 (享年69歳)  
 入会日: 1987年4月15日  
 ロータリー歴  
 2000-01 クラブ会長  
 2008-09 第7分区分ガバナー補佐  
 2010-11 2790地区ガバナー

7月のロータリーレート

# 102

円



2014-15年度 国際ロータリー 第2790地区

# 地区大会記念ゴルフ大会



日時：2014年 **10月6日** (月)

会場：キングフィールズ ゴルフクラブ (千葉県市原市新巻 377 TEL0436-36-6111)

プレー代：23,000円 (キャディ付 4B / 乗用カート / ワンドリンク付昼食 / パーティ代を含む)  
※ゴルフ場にて各自ご清算ください。

登録料：10,000円 (参加賞及び賞品代 / 「ロータリー希望の風」奨学金への寄付)  
※登録料はクラブで取りまとめ一括にて振込をお願いします。

Sec.2790 Memorial Golf Tournament



## 【競技要項】

- ▶ 競技クラス分け
  - 女子の部
  - 男子の部
  - シニアの部 (60歳以上)
  - クラブチーム対抗戦
- ▶ 18ホールストロークプレー・新ペリア方式
- ▶ アトラクション

**7月22日**  
より登録開始  
多数のクラブ  
参加希望

●市原インターから13km 所要時間は約20分です。



## クラブチーム対抗団体競技実施!

各クラブチーム3名の選手を予めご登録願います。

**参加方法** 各クラブにはメールでご案内をお送りします。  
内容をご参照のうえ、Web サイトにてお申し込みください。

ごあいさつ

地区大会記念ゴルフ大会実行委員長  
田澤 剛一

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。  
国際ロータリー第2790地区、地区大会記念ゴルフ大会のご案内を申し上げます。  
来る10月6日(月)キングフィールズゴルフクラブを貸切りで実施いたします。  
この大会は、奉仕活動のチャリティー(『ロータリー希望の風』奨学金)と会員皆様方との親睦をかねております。  
皆様方の多数のご参加を楽しみにお待ちしております。

Rotary



国際ロータリー 第2790地区 2014-15年度 地区大会事務局  
(記念ゴルフ大会実行委員長 田澤 剛一)

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森 3-1-1-302  
TEL/043-284-2790 FAX/043-256-0008 E-mail/14-15gov@rid2790.jp

## 第2790地区内 クラブ バナーの由来



### 千葉ロータリークラブ

1951年創立当時の奈良屋宣伝部中村歩のデザインによる。

当時のバナーはどこのものもシンプルでデザインが多く、県下第一番目の千葉クラブもその点を心がけ、落ち着いた紫を基調に海を象徴する波を図案化した。



### 木更津ロータリークラブ

木更津は港町特有のあたたかい人情に溢れ、そして由緒ある名所旧跡が数多くあります。

幼い頃一度は聞いた歌ったりしたことのある童謡「証誠寺の狸ばやし」ゆかりの寺「證誠寺」もこの木更津にあります。バナーは、創立40周年を記念して「狸ばなし伝説」と「東京湾アクアライン」をデザインし、誰もが親しみやすいものに一新しました。



### 市川ロータリークラブ

江戸時代後期に活躍した浮世絵師・歌川広重の連作「江戸名所百景」から「鴻の臺とね川風景」をテーマに選びました。

鴻の臺とは、市川市・国府台の古名で、浮世絵には現在の里見公園周辺から眺めたであろう、富士山を背景に、美しい松林の際を江戸川が流れる長閑な景観が描かれています。



### 船橋ロータリークラブ

むかし、日本武尊が東征の折、舟をつないで橋をつくってお渡ししたので「ふなばし」の地名ができたという伝説がある。

それに因んで国宝の本阿弥光悦作「舟橋の図」硯箱をモチーフにした。

この硯箱は桃山時代の傑作で、伊勢物語の一節を金時絵に鉛の板を使ったりした卓技な意匠のもので現在は上野の国立博物館に蔵されている。



### 館山ロータリークラブ

館山市は千葉県南部に位置し、海と山に囲まれたまちです。温暖な気候に恵まれ1月には花々が咲き乱れます。道路沿いには黄色い菜の花が多く咲き、ドライブを楽しませてくれる存在になっています。また、館山湾は波静かで海面がまるで鏡のように見えることから、「鏡ヶ浦」と呼ばれており、館山湾に浮かぶ夕日は一度見ると忘れられない風景です。

バナーは、ベースの色を青色とし海をイメージさせています。そして、その中にロータリーのマークを囲んで、館山の花のイメージとして代表的な花の菜の花を配していると思います。



### 野田ロータリークラブ

野田市（東京の北東約30キロ）は醤油と共に発展して来た町で、江戸川に臨んでいます。

市の周辺には、今尚、昔の武蔵野の面影を残す田園、山林が連なり、自然公園として有名な清水公園、座生沼は又、桜や紅葉の名所でもあり、名利金乗院もここに 있습니다。最近、山林の間を縫ってゴルフ場が開かれ、絶好の健康地となりました。

バナーにはこういう野田市の風物を採り入れました。



### 松戸ロータリークラブ

松戸が現在の「まつど」の音に近い「まつさと」という言葉で文献に現れてくるのは治安元年(1021)に作られた更級日記が最初です。

松戸が太日川(ふとひがわ)江戸川に沿った武蔵国、常陸国、下総国の国府へ通ずる重要な交通路の位置にあって「馬津郷」(うまつかさ)とか「松里」(まつさと)と言われていたが、いつか「まつど」となったという説があります。松戸は江戸川と共に古い歴史の年輪を刻みながら現在に至っておりますが、戦後急激な人口増加が進み、住宅団地 工業団地が造成され、昭和55年人口約39万人平成26年人口46万人余りの松戸市に成長いたしました。

わが松戸ロータリークラブも昭和55年11月14日に創立25周年を迎え、これを記念して特別委員会は永瀬武雄、鈴木卯之助両会員に依頼し、バナーの新調を企画いたしました。江戸川の流れを主体として松戸市の花つつじを配し作成され、江戸川の青は清純、つつじの白は潔白、赤は情熱を表しております。

### 行事予定 (7月)

2014年7月1日(火)	11:45-15:00	ガバナー・元・次期ガバナー会 グランドプリンスホテル高輪
2014年7月2日(水)	9:00-16:30	R財団地域セミナー グランドプリンスホテル高輪
2014年7月5日(土)	14:00-15:00	第1回地区指名委員会 ホテル ザ・マンハッタン
2014年7月12日(土)	14:00-14:30 14:30-16:00	第1回地区危機管理委員会 第1回地区諮問委員会 ホテル ザ・マンハッタン
2014年7月26日(土)	13:00-17:00 17:00-18:30	2013-14年度地区監査委員会 第1回地区財務委員会 ホテル ザ・マンハッタン
2014年7月27日(日)	13:00-	地区ロータリー情報研究会 アパホテル&東京ベイ幕張ホール